

11月20日 朝礼にて 校長講話

ずいぶん寒くなってきて、風が冷たくなってきているけど、みんなちゃんと手をポケットに入れることもなく、元気に登校してきてくれて気持ちがいいですね。今日は読書についてお話ししたいと思います。本当は、読書の秋ということで話をしたかったんだけど、今日、お話をします。

みんなは、秋竹小学校で朝の読書をやっているから、本を読んでいると思うんだけど、思い出してみて。11月に入って、学校の図書室で本を借りたという子、手を挙げてくれますか。いるねえ。じゃあ、家で本を読んだという子、いるかな。たくさんいるね。本は心の栄養と言われています。たくさん読めるといいね。ちなみに、11月に何冊読んだかわかりますか。1冊という人。じゃあ。3冊という人。結構いるね。それじゃあ10冊以上という人。ああ、何冊読んだの？15冊。13冊。15冊。すごいね。2日に1冊ですね。たくさん読めるといいですね。

さて、4月から学校の図書室でお仕事をしていただいている方ですが、知っている人。ああ、たくさんいるね。江上先生と言って、水曜日の1時から5時まで図書室でお仕事をしていただいています。だから、いつもは朝は会えないけれど、今日は特別に来ていただきましたから、お話をさせていただきます。

校長先生からご紹介いただきました江上です。お話しのとおり、水曜日しかいませんので、全員の顔を覚えることはできないと思いますが、知っててくれてる人がいてうれしいです。学校の図書室の本が借りやすい、見つけやすいように頑張ります。水曜日のお昼から、低学年図書室か高学年図書室のどちらかにいますから、声をかけてもらえるとうれしいです。

さて、12月は人権週間があります。学校で国語や社会の時間に人権について聞いたことがあるかも知れませんが、高学年図書室に人権に関する本やクリスマスの本を展示します。また、低学年図書室には新しい本が入っています。是非、図書室に来てほしいと思います。

今日は、もう一人、とっても素敵な読書感想文を書いてくれた子がいたので、紹介してもらいます。

略

マララさんについての本を読んだ感想を紹介してもらいました。学校に行けない子がいなくなるとういいますね。